

<対策のポイント>

- 肉用子牛や乳用初妊牛などの**生体家畜**は日本国内で**長距離・広域流通**されており、その移動の大部分を**トラックによる陸送**に依存せざるを得ない状況であり、“**トラック物流2024年問題**”（自動車運送業の時間外労働時間規制等）への対応は、我が国の畜産業の持続性を左右する喫緊の課題となっています。
- 家畜の移出入を行う**産地や生体家畜の輸送業者等が一体**となり、当該問題に対応するための**流通体制の転換を目指す実証的取組**を後押し、その横展開を通じて将来に渡り持続的な家畜流通体制を確立します。

<政策目標>

円滑な家畜の流通により畜産生産基盤を確保することで、生産努力目標（牛肉57万t、生乳780万t等）の達成に寄与

<事業の内容>

1. 海上・鉄道輸送の活用の実証

150百万円

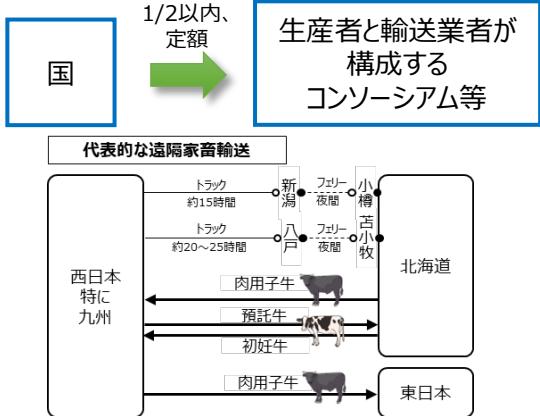
陸上輸送と海上輸送または鉄道輸送の組合せにより流通体制の転換を図る実証的取組を支援します。

2. 陸路でのリレー輸送の実証

135百万円

家畜中継拠点の整備や家畜専用トレーラー（荷台）の導入によるリレー輸送等の実証的取組を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

特に**家畜の遠隔輸送**においては、**物流逼迫**や**傭車リードタイムの長期化**などの影響が懸念
トラック物流2024問題
生体家畜特有の課題

2024年度から、
トラックドライバーの
時間外労働や拘束時間の
上限規制等が強化



- ・家畜輸送に慣れたドライバーである必要
- ・夏期は家畜への**給水**も必要
- ・**長距離のフェリー輸送に向かない**（高温に伴う死亡・瑕疵リスク）
- ・荷台の**洗浄・衛生管理**が必要 等

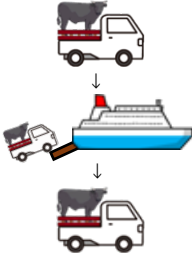
体制転換イメージ①

【現行】



出発地から
到着地まで
トラックで輸送

【転換後】



輸送方法の組合せ
ドライバーの
休息時間 確保

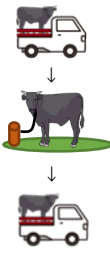
体制転換イメージ②

【現行】



トラックを並べて
直接載換え
両方向の
ドライバーが
そろうまで
待ち時間が発生

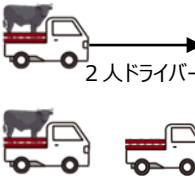
【転換後】



中継拠点の整備
一時繋留することで
待ち時間 解消

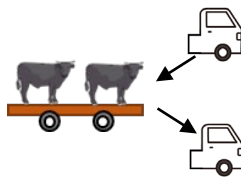
体制転換イメージ③

【現行】



2人ドライバー
直接載換え
トラック型
家畜専用
輸送車両

【転換後】



家畜専用トレーラー
(荷台)型の導入
待ち時間 解消
載換え 不要
輸送効率(積載頭数)UP